

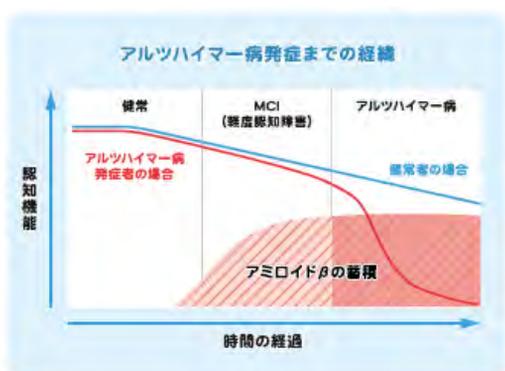
認知症検査がパワーアップしました

MCI⁺プラス

スクリーニング検査



アルツハイマー病前段階の軽度認知障害リスクを血液で調べます



MCI（軽度認知障害）とは？

MCI（軽度認知障害）は健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階と考えられ、**認知症予備軍**といわれています。そのまま放置してしまうと約5年でその半数が認知症に移行してしまうと言われていますが、この段階で適切な予防や治療を行うことによって、**認知症発症を防ぐまたは遅らせることができる**ことが最近の研究で明らかになっております。

プラスのヒミツ

より早期のスクリーニングが
より高感度で行えるようになりました

いままで



アミロイドベータ
・排除する
・毒性を弱める
3種のタンパク測定



プラス



- ・ アミロイドベータ関連物質 **4種類**追加
- ・ 血管ダメージに関わる **2種類**の物質を追加

全部で **9種類**の物質を測定解析

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが蓄積されて、神経細胞がダメージを受けることで発症すると言われております。従来検査ではこれらを排除する蛋白質を測定することでMCIのリスクを評価していました。

新しくなった検査では従来の蛋白質に加えて、新しく4種類のアミロイドベータ関連物質を測定しております。また、最新の研究で**血管のダメージ**が認知症に関連していることがわかっておりましたので、新たに血管に関連する物質を測定し、解析に組み込んでおります。新しい解析手法により、従来の検査よりも高い感度でMCIのリスクを評価することが可能になりました。

早期にMCIリスクを調べて、認知症になる前の予防に取り組みましょう

検査費用： **22,000円** (税込)

報告レポートイメージ

テスト タロウ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

リスク評価

あなたのMCIリスク値 **1.58**

D評価

MCIのリスクは高いため、専門医による詳細な検査を受け、適切な指導を受けられることをおすすめします。

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健忘的な生活を継続的に改善することで、MCIのリスクを減らすことができます。予防は早く取り掛かればほど効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
C	1.01~1.50	【中程度の方】現在の生活習慣を見直すことで、MCIのリスクを減らすことが可能です。予防策を早急に取り掛かることで、悪化を防ぎたいと思います。【重軽の方】生活習慣を見直し、悪化を防ぎたいと思います。悪化を防ぎたいと思います。
D	1.51~2.00	【中程度の方】このままの生活習慣が続くと、将来的なMCIのリスクが高まります。【重軽の方】専門医による詳細な検査を受け、適切な予防を受けられることをおすすめします。

※数値的には一時的に改善される方を示します。

当検査ではアルツハイマー型認知症のリスクに関するタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを判定しています。

4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

認知	注意	実行	言葉	記憶	気分	認知
7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1

検査を受けて

次回 2023年の6月頃に翌年に検査を受けましょう。

9つのタンパク質の測定値をもとに統計的手法でMCIのリスクを評価します。判定結果はA~Dの4段階にて報告致します。受診後には認知症予防のため別冊資料もご提供しております。

認知症予防マニュアル

MCIプラススクリーニング検査

はじめよう 脳の健康習慣

認知症予防設備

MCIスクリーニング検査プラスとは

認知症とは、2021年10月現在、日本では約200万人に達していると考えられています。高齢化が進むにつれて、認知症の患者数はますます増加すると見込まれています。MCIスクリーニング検査プラスは、認知症のリスクを早期に発見し、予防に努めるための検査です。MCIスクリーニング検査プラスは、認知症のリスクを早期に発見し、予防に努めるための検査です。MCIスクリーニング検査プラスは、認知症のリスクを早期に発見し、予防に努めるための検査です。

MCIスクリーニング検査プラスとは？

MCIスクリーニング検査プラスは、認知症のリスクを早期に発見し、予防に努めるための検査です。MCIスクリーニング検査プラスは、認知症のリスクを早期に発見し、予防に努めるための検査です。MCIスクリーニング検査プラスは、認知症のリスクを早期に発見し、予防に努めるための検査です。

検査結果をどう活用する？

検査結果をどう活用する？

こんなことはありませんか？

- 「あれ、何をしようと思ったんだっけ？」が、なかなか思い出せない。
- レジで小銭を出さず、お札で済ませてしまう。
- 「え、約束していたっけ？」人と会う約束を忘れたことがある。
- スマホや家電製品の操作にまごつくことが増えた。
- 一日や一週間のスケジュールが組めない。段取りが悪くなった。
- 知っている場所に行こうとして、道を間違えたり、迷う。
- 「薬を飲んだっけ？」とまた薬を飲んだり、飲み忘れたりすることがある。

出典：『認知症かな？と思ったらすぐ読む本』 朝田隆監修，技術評論社

予約に関するお問い合わせ

ARCHE CLINIC
アルシェクリニック

TEL : **048-640-6561**

検査に関するお問い合わせ

PreMedica

TEL **0120-39-5119**

平日10:00-18:00(土日祝をのぞく)

<検査に関する注意点>

- ※ 既に認知症と診断されている方は検査対象外となります。
- ※ 急性炎症・肝硬変・先天的脂質異常症の方、自己免疫性疾患をお持ちの方は判定結果に影響する可能性がございます。
- ※ 本検査は食事の影響を受けません。

